



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 創健社

コード番号 7413 URL <http://www.sokensha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 靖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 本田次男

TEL 045-491-1441

四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,222	17.4	1	—	3	—	31	—
27年3月期第2四半期	1,892	△1.6	△58	—	△57	—	△59	—

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 28百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △7百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	4.46	—
27年3月期第2四半期	△8.51	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	2,574	—	1,036	—	40.3	—	148.10	—
27年3月期	2,671	—	1,018	—	38.1	—	144.46	—

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 1,036百万円 27年3月期 1,018百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	4,600	8.8	30	—	28	—	45	15.8	6.40	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	7,055,000 株	27年3月期	7,055,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	57,009 株	27年3月期	6,759 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	7,030,839 株	27年3月期2Q	7,048,360 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] 4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11
(その他注記事項)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行の金融政策により、企業収益や雇用情勢に改善の動きが見られ、景気は緩やかな回復基調となりましたが、個人消費におきましては、生活必需品の価格上昇等により生活防衛意識が依然として根強く、不安定な状況で推移しております。

当社グループを取り巻く食品業界におきましては、消費者の節約志向は依然として強く、加えて円安による輸入原材料価格や包材価格の上昇、異業種を含む企業間の競争が続くなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは「食」が持つ大切さを訴え続けるという企業使命を果たすため、第3次中期経営計画『「50周年を迎え、新購買層への更なるアプローチ」(平成26年4月1日から平成29年3月31日まで)』の2年目となります当連結会計年度におきましては、新しい顧客層やその予備軍が多く存在しているマーケットを積極的に開拓・育成し、当社グループブランド商品の新しいファン作りに注力するとともに、海外への輸出を検討し、営業利益を安定的なものへとするため、売上高と売上総利益額の拡大を図るよう役員・社員一丸となって取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの商品品目別売上高につきましては、「油脂・乳製品」がマーガリン等の売上減があったものの、えごま油及びココナッツオイル等の売上増により、前年同四半期比1億86百万円増(66.8%増)の4億65百万円、「調味料」が蜂蜜等の売上減があったものの、ドレッシング及びマヨネーズ並びにカレー等の売上増により、前年同四半期比94百万円増(16.2%増)の6億76百万円、「副食品」がスープ及びみそ汁等の売上減があったものの、即席ラーメン及びかつおスライス並びに鮭ほぐし等の売上増により、前年同四半期比16百万円増(4.3%増)の4億2百万円、「栄養補助食品」が乳酸菌及びキダチアロエ等の売上減があったものの、梅エキス及びユーグレナ等の売上増により、前年同四半期比15百万円増(16.3%増)の1億10百万円、「嗜好品・飲料」がプルーンの実及び梅果肉ドリンクの売上減があったものの、チョコレート及びポテトチップス等の売上増により、前年同四半期比11百万円増(3.3%増)の3億43百万円、「乾物・雑穀」が押麦等の売上減があったものの、パン粉及び切干大根並びにチアシード等の売上増により、前年同四半期比5百万円増(3.8%増)の1億49百万円、「その他」がスチームオープン等の売上減があったものの、寝具用掃除機及び虫除けスプレー等の売上増により、前年同四半期比0百万円増(0.8%増)の73百万円となりました。商品品目別売上高は、全品目において前年同四半期比で上回る事ができました。

この結果、全体の売上高は22億22百万円(前年同四半期比3億29百万円増、17.4%増)となり、売上総利益率は26.2%と前年同四半期比0.5ポイント増となりました。販売費及び一般管理費は5億80百万円(前年同四半期比34百万円増、6.3%増)となり、営業損益につきましては、営業利益1百万円(前年同四半期は営業損失58百万円)となり、経常損益につきましては、経常利益3百万円(前年同四半期は経常損失57百万円)という結果にて終了しました。また、四半期純損益につきましては、受贈益18百万円及び投資有価証券売却益10百万円の特別利益の発生があり、親会社株主に帰属する四半期純利益は31百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失59百万円)となりました。

品目別販売及び仕入実績の状況

当社グループの事業は単一グループであり、当第2四半期連結累計期間の販売及び仕入実績をセグメントごと及び事業部門ごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

① 販売実績

品目別	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)			主要商品
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比	
油脂・乳製品	278,943	14.7	465,263	20.9	66.8%増	マーガリン・ベに花油・えごま油・オリーブ油・ココナッツオイル
調味料	582,288	30.8	676,825	30.5	16.2%増	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし
嗜好品・飲料	331,999	17.6	343,063	15.5	3.3%増	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ
乾物・雑穀	144,254	7.6	149,663	6.7	3.8%増	小麦粉・パン粉・米・発芽米・黒米・雑穀・鰹節・昆布・ひじき・蓮根粉・ハトムギ粒・餅きび・押麦・キヌア・切干大根・チアシード
副食品	386,394	20.4	402,875	18.1	4.3%増	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰・熟成発酵黒にんにく・パンケーキ粉・らっきょう甘酢漬・シリアル食品・みそ汁・スープ
栄養補助食品	95,445	5.0	110,963	5.0	16.3%増	青汁・キダチアロエ・梅エキス・ユウグレナ・ハトムギ酵素・乳酸菌・天茶エキス・コラーゲン・基石茶
その他	73,313	3.9	73,903	3.3	0.8%増	トイレットリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレー
合計	1,892,639	100.0	2,222,560	100.0	17.4%増	—

② 仕入実績

品目別	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比
油脂・乳製品	210,601	15.2	335,628	20.6	59.4%増
調味料	426,817	30.7	503,778	30.9	18.0%増
嗜好品・飲料	252,024	18.1	260,562	16.0	3.4%増
乾物・雑穀	116,613	8.4	124,402	7.6	6.7%増
副食品	254,631	18.3	270,060	16.6	6.1%増
栄養補助食品	62,993	4.5	74,135	4.5	17.7%増
その他	67,315	4.8	61,633	3.8	8.4%減
合計	1,390,998	100.0	1,630,201	100.0	17.2%増

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1億38百万円の減少となりました。この主な要因は、「現金及び預金」の1億41百万円減少などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて41百万円の増加となりました。この主な要因は、「投資その他の資産その他」の（差入保証金）14百万円増加及び「保険積立金」の10百万円増加並びに「土地」の9百万円増加などによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて96百万円減少し、25億74百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて18百万円の減少となりました。この主な要因は、「短期借入金」の15百万円増加などがあったものの、「支払手形及び買掛金」の15百万円減少及び「流動負債その他」の（未払消費税等）13百万円減少並びに「未払法人税等」の4百万円減少などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて96百万円の減少となりました。この主な要因は、「長期借入金」の86百万円減少などによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億15百万円減少し、15億38百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて18百万円の増加となりました。この主な要因は、「自己株式」の9百万円増加及び「その他有価証券評価差額金」の3百万円減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による「利益剰余金」の31百万円増加などによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、営業活動の結果34百万円及び投資活動の結果24百万円並びに財務活動の結果82百万円を使用し、当第2四半期連結会計期間末には8億80百万円（前年同四半期比25百万円減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に係るキャッシュ・フローとして仕入債務の減少額20百万円及び未払消費税等の減少額12百万円などにより、営業活動の結果使用した資金は34百万円（前年同四半期は8百万円の獲得）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に係るキャッシュ・フローとして投資有価証券の売却による収入15百万円により一部相殺されたものの、保険積立金の積立による支出16百万円及び差入保証金の差入による支出15百万円並びに有形固定資産の取得による支出10百万円などにより、投資活動の結果使用した資金は24百万円（前年同四半期比7百万円増）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に係るキャッシュ・フローとして短期借入金の純増額50百万円により一部相殺されたものの、長期借入金の返済による支出1億19百万円及び自己株式の取得による支出8百万円などにより財務活動の結果使用した資金は82百万円（前年同四半期比28百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、前回予想（平成27年5月15日に発表いたしました連結業績予想）から変更ありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。 )、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。 )及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。 )等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,213,335	1,071,589
受取手形及び売掛金	681,239	666,636
有価証券	42,328	42,337
商品及び製品	213,408	214,947
仕掛品	58	96
原材料及び貯蔵品	26,634	28,569
その他	18,311	31,769
貸倒引当金	△902	△369
流動資産合計	2,194,414	2,055,577
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	290,337	293,762
減価償却累計額	△231,854	△229,540
建物及び構築物（純額）	58,483	64,222
土地	79,033	88,371
リース資産	41,929	47,931
減価償却累計額	△22,744	△26,017
リース資産（純額）	19,185	21,914
その他	183,895	183,104
減価償却累計額	△163,558	△160,106
その他（純額）	20,336	22,997
有形固定資産合計	177,039	197,506
無形固定資産		
のれん	177	88
その他	10,783	15,279
無形固定資産合計	10,960	15,367
投資その他の資産		
投資有価証券	127,402	117,532
保険積立金	124,888	135,766
その他	37,653	54,194
貸倒引当金	△625	△1,056
投資その他の資産合計	289,319	306,437
固定資産合計	477,320	519,312
資産合計	2,671,734	2,574,890



（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	488,521	472,595
短期借入金	471,748	487,516
リース債務	8,712	9,892
未払法人税等	12,135	8,095
賞与引当金	10,719	10,971
その他	101,944	85,849
流動負債合計	1,093,781	1,074,920
固定負債		
長期借入金	222,719	136,051
リース債務	11,519	13,279
繰延税金負債	17,029	15,745
役員退職慰労引当金	93,800	90,300
退職給付に係る負債	184,135	175,164
その他	30,561	33,026
固定負債合計	559,764	463,567
負債合計	1,653,546	1,538,487
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	920,465	920,465
資本剰余金	411,979	45,965
利益剰余金	△349,848	47,502
自己株式	△1,183	△11,062
株主資本合計	981,411	1,002,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,776	33,532
その他の包括利益累計額合計	36,776	33,532
純資産合計	1,018,188	1,036,402
負債純資産合計	2,671,734	2,574,890

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）
売上高	1,892,639	2,222,560
売上原価	1,405,340	1,641,043
売上総利益	487,298	581,516
販売費及び一般管理費	※ 546,013	※ 580,210
営業利益又は営業損失（△）	△58,714	1,306
営業外収益		
受取利息	82	93
受取配当金	1,438	1,038
仕入割引	1,257	1,722
貸倒引当金戻入額	281	74
為替差益	24	—
破損商品等賠償金	119	918
その他	950	1,050
営業外収益合計	4,155	4,897
営業外費用		
支払利息	2,493	2,245
その他	64	202
営業外費用合計	2,558	2,448
経常利益又は経常損失（△）	△57,116	3,756
特別利益		
固定資産売却益	407	335
投資有価証券売却益	—	10,948
保険解約返戻金	—	4,029
受贈益	—	18,707
特別利益合計	407	34,021
特別損失		
固定資産除却損	0	171
保険解約損	—	591
特別損失合計	0	762
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△56,709	37,015
法人税、住民税及び事業税	3,382	5,678
法人税等合計	3,382	5,678
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△60,091	31,337
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△144	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△59,947	31,337

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△60,091	31,337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52,237	△3,244
その他の包括利益合計	52,237	△3,244
四半期包括利益	△7,854	28,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,709	28,092
非支配株主に係る四半期包括利益	△144	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△56,709	37,015
減価償却費	12,489	14,026
のれん償却額	88	88
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	1,054	△8,971
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	3,600	△3,500
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,205	252
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△865	△102
受取利息及び受取配当金	△1,521	△1,131
仕入割引	△1,257	△1,722
支払利息	2,493	2,245
受贈益	—	△18,707
為替差損益（△は益）	△24	—
固定資産除却損	0	171
保険解約損益（△は益）	—	△3,438
固定資産売却損益（△は益）	△407	△335
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△10,948
売上債権の増減額（△は増加）	89,286	14,583
破産更生債権等の増減額（△は増加）	769	△430
たな卸資産の増減額（△は増加）	2,917	△3,512
仕入債務の増減額（△は減少）	△35,263	△20,686
未払消費税等の増減額（△は減少）	4,822	△12,913
その他	△6,813	△7,377
小計	13,454	△25,396
利息及び配当金の受取額	1,299	969
利息の支払額	△2,324	△2,071
法人税等の支払額	△4,335	△8,292
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,094	△34,790
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△233,900	△233,900
定期預金の払戻による収入	233,750	234,200
有形固定資産の取得による支出	△9,368	△10,198
有形固定資産の売却による収入	432	354
無形固定資産の取得による支出	—	△6,577
投資有価証券の取得による支出	△136	△116
投資有価証券の売却による収入	—	15,792
貸付けによる支出	—	△2,500
貸付金の回収による収入	406	929
保険積立金の積立による支出	△7,772	△16,168
保険積立金の解約による収入	—	8,729
差入保証金の差入による支出	—	△15,194
その他	56	154
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,531	△24,495
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	50,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△100,088	△119,000
リース債務の返済による支出	△4,005	△4,582
自己株式の取得による支出	△33	△8,567
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,127	△82,150
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△62,540	△141,436
現金及び現金同等物の期首残高	968,231	1,021,613
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 905,690	※ 880,176

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成27年6月26日開催の定時株主総会の決議により、会社法第448条第1項及び第452条の規定に基づき、資本準備金379,849千円を減少し、その同額をその他資本剰余金に振替え、振替後にその他資本剰余金366,013千円を減少し、その同額を繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が45,965千円になっております。

なお、株主資本合計金額には、著しい変動はありません。

（セグメント情報等）

前第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

（その他注記事項）

（四半期連結損益計算書関係）

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）
荷造運送・保管費	132,607千円	149,953千円
給料手当及び賞与	155,464	158,817
研究開発費	10,999	16,579
退職給付費用	19,151	16,726
役員退職慰労引当金繰入額	3,600	3,800
賞与引当金繰入額	9,713	10,571

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書）

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）
現金及び預金勘定	1,107,419千円	1,071,589千円
有価証券(MMF等)	32,320	42,337
預入期間が3か月を超える定期預金	△234,050	△233,750
現金及び現金同等物	905,690	880,176